



アジア未来学校の最新状況と今後

～目 次～

アジア未来学校の最新状況と 今後	1
認定NPO法人申請決定	3
冬のフリーマーケット	3
韓国の暮らしあれこれ⑥	4
スタッフ紹介	5
事務連絡	6

ニュースレター14号、15号で、アジア未来学校の状況を皆さまにお伝えしました。14号では、学校開設2年間の成果として、65名の子どもたちがカンボジア教育省制定の識字教育課程を終了し、隣村プラーカー村の公立ルセイサン小学校に転入できたこと、またその結果、昨年6月末で生徒数が45名になったことを報告しました。15号では、学校のあるアンロンコン・タマイ村に外国のNGOが参入し、現金を与えることで子どもを公立小学校に行かせるという活動を始めたこと、その結果アジア未来学校の生徒数が大幅に減り、昨年10月現在で7～8名になってしまったことを報告しました。



ルセイサン小学校

また、残念ながらカンボジアの公立小学校の一般的傾向に洩れず、ルセイサン小学校も授業の質が満足がいくものではなく、アジア未来学校の方が充実した教育レベルにあることも報告しております。

このような経過を受けて最近のアジア未来学校の状況と今後の進め方についての考えを、以下に記します。

アジア未来学校の最新状況(06年1月現在)

生徒数 26名

従来からの生徒	7名	
アンロンコン村(アンロンコン・タマイ村の隣村)からの生徒	9名	アジア未来学校の先生二人はこの村の公立小学校の先生でもある。
ルセイサン小学校への転入生	10名	午前中はルセイサン小学校に通い、午後はアジア未来学校の授業を受けている。

内訳 クラス編成 2名の先生による2クラスを午後に実施

クラス1	初級教科書のレッスンNo.40	8名
	教科書 第4	4名
クラス2	初級教科書のレッスンNo.16	14名

識字教育課程の教科書は、初級、第2、第3、第4の四冊から成っていますから、上記のクラス分けを見ると、ほとんどの子どもがまだ読み書きができないか、せいぜい「あいうえお」がやっという状況にあることが判ります。なお、午前のクラスを受け持っていた先生二人は、先方の個人的理由(病気及び引っ越し)で円満退職されました。

また、ルセイサン小学校に転入した子どもたちへの複数の外国NGOの経済的支援については、以下の状況にあります。転入した30名中20名に毎日一人当たり1,500リエル(約0.36ドル)を支給。この他に石けん、米(10Kg)、衣料が毎月支給される。

今後の進め方

以上の状況の中、私たちは外国NGOの経済的支援による生徒数の減少を前提に、「アンロンコン・タマイ村とその近辺で、何が子どもたちのためになるのか、そのためにわれわれは何ができるのか」の原則に基づき、当面、以下の活動を検討しております。

1 アンロンコン村の子どもの受け入れ。(一部実施済)

本件は、アンロンコン村の公立小学校の先生でもある、アジア未来学校の先生の提案で始まったものです。その背景は、公立小学校の授業の質が良くないため、学校に通いながらも読み書きの能力がない子どもがいて、アジア未来学校に来れば識字能力を身につけることができるということです。

2 アジア未来学校での図書館活動

従来から週に1回読み聞かせを実施していましたが、この回数を増やすことと、学校に絵本を置き、子どもたちが放課後読めるようにすることを検討しています。これは、子どもたちを本好きにして、身につけた読み書きの能力が落ちないようにすると同時に、本を読むことを通じてものごとを考えるようにし、自立心を持たせるといった目的もあります。

3 ルセイサン小学校への支援

アジア未来学校の子どもたちの編入先であるルセイサン小学校でも図書館活動ができないかと考えています。この問題は、学校としての意識の問題、先生の実力、やる気の問題など、実行に当たってはかなり難しいことが予想され、慎重に事を運ぶ必要があると考えています。

これらの計画は、当会がアジア未来学校の運営を委託している現地NGOポロック・タマイのディレクター、ポット・リティ氏とアジア未来学校の先生方および前カンボジア事務所長の安田の相談の結果、生まれたものです。

また、「図書館活動」という考えは、ニュースレター15号で報告した「シャンティ国際ボランティア会」の高橋様の講演にリティ氏が感銘を受け、実施したいと考えたことがきっかけとなっています。(大澤記)

認定NPO法人(税金優遇資格)申請決定

12月の理事会で表記申請を決定しました。

「認定NPO法人」というのは、一定の条件を満たしているNPO法人が国税庁に申請し、審査の結果得られる資格です。これを取る意味は下記のとおりです。

1 メリット

- ① 認定NPO法人に寄付をする個人、法人が税金優遇措置を受けられるので、寄付が集め易くなる。(特に企業への寄付要請の時)
- ② 収益事業の法人税が安くなる。(当会は収益事業を行わないので関係なし)
- ③ 団体の信用が非常に高まる。(特に収支について)

2 デメリット

- ① 手間の増加：資格取得申請時の手間と、2年毎の更新の手間が団体としてかなりの負担となる。
- ② 一者からの多額の寄付が受けられなくなる可能性がある。
- ③ 資格喪失時、支援者に迷惑をかける場合がある。

以上を勘案し手間をかけるだけのメリットありと判断し、申請することに決定しました。なお申請は、条件を満たす本年7月に行う予定で、取得は早くとも11月頃と考えられます。優遇措置の具体的内容は資格取得時にご連絡します。

冬のフリーマーケット

12月10日(土)、ジュニアスタッフを中心としたスタッフ有志が、明治公園で行われたフリーマーケットに参加しました。その日は幸い天候に恵まれて、多くのお客さんが私たちのお店に立ち寄ってくださいました。その結果、58,920円の収益をあげることができました。この売上はすべて基金に寄付し、カンボジアの子供たちの教育資金となります。

冬の寒い時期にフリーマーケットに出店するのは初めてでお客さんが来てくれるかとても心配でしたが、会員の皆様が送ってくださった商品はとても評判がよく、朝の早い段階から大忙しとなりました。これもすべて皆様のご協力の賜物だと思います。本当にありがとうございました。また、今回のフリーマーケットでは、韓国事務局のスタッフであるイ・ヨロ君がお友達と一緒に参加して、私たちのお店を大きな声で宣伝してくれました。「この店、安いよ～」という声が多くのお客さんの心を掴んだようです。もう一つ私たちのお店を大いに宣伝してくれたのは、カンボジアの子供たちの顔がたくさん写っているポスターでした。明治公園でのフリーマーケットには外国人の方もたくさん来るのですが、このポスターを見て、「私の国だよ」と言ってくれるカンボジア人のお客さんや、私たちの活動に興味を持って話しかけてくれるお客さんもいました。フリーマーケットを通じて思わぬ国際交流があるのもこのポスターのおかげかもしれません。

今後もフリーマーケットに有志で参加する予定です。一緒に売り子をしてくださる方、商品を提供してくださる方をそのつど募集しますので、ご協力よろしく
お願い致します。(菊池)

韓国の暮らしあれこれ⑥

今回は趣向を変えてお寺の話です。韓国では百濟・新羅・高句麗の三国時代から統一新羅、高麗時代までは、日本と同じように仏教が盛んでした。しかし14世紀末にはじまった朝鮮時代には儒教が重んじられて仏教は排斥されたので、仏教界の勢力は弱まり、世界遺産で有名な慶州の仏国寺や石窟庵なども荒れ果てたままに放置されていたのです。しかしいまでは自国の文化遺産を大切にしようという考えが強まって、それらの寺でも修復されて多くの観光客が訪れるようになりました。



昨秋、慶尚北道栄州市の鳳凰山中腹にある浮石寺（プソクサ）を訪ねました。ソウルから在来線の列車で約4時間、さらに車で1時間半ぐらい上ったところにあります。あたりには山地を利用したリング畑が広がり、寺の入り口から天王門まではなだらかな坂道で、黄葉した銀杏並木が続いています。早朝だったのであたりには人影もなく、落ち葉を踏みながら歩いていきました。

天王門をくぐって境内にはいると、『観無量壽經』の九品曼陀羅になぞらえた三段の石積みがあって、石段を上るごとに人はだんだんと極楽浄土に近づいて行くわけです。かなり急傾斜の石段を上りきって振り返れば、忽然と視野が開けて太白山脈のなだらかな山やまが一望のもとに見渡せ、晴れ晴れと心が広がります。韓国最古の、高麗時代の建築物である無量壽殿（日本の金堂にあたる）に入ると、簡素でどっしりしたエンタシスの柱が悠然とした空間をつくり、端正な面立ちの金色の阿弥陀如来像が安置され、たくさんの人びとが読経しながら立ち上がっては身を投じる韓国式の礼拝をくりかえしていました。目を閉じれば、遠く高麗時代に、ここでこうして僧たちや信徒たちが礼拝していた姿がしのばれるようでした。

ここは、唐に留学して帰国した義湘（ウイサン）大師が、新羅時代（7世紀）に華嚴宗の中心寺院として創建した寺で、その後何度か改修されたものです。寺の名前「浮石」には次のような由来があります。義湘が唐に留学する途中、立ち寄った中国の港町で善妙という娘が義湘に心を奪われましたが、義湘の心を引くことができず、「生涯、お坊さまに帰依します」と誓いを立てます。義湘が帰国するとき、またその港を通りましたが、善妙は「自分の身が龍になって、あの船が無事に帰れるようにしてくれ」といって海に身を投げました。帰国した義湘が汚されていない奥地を求めている場所に寺を建てようとしたとき、善妙は大きな岩となって空に浮かび、邪魔するものたちを追い払ったといわれます。いまも浮石寺には「浮石」と呼ばれる大きな岩があり、下にある岩との間にはすき間があってくっついていないと言われています。

華嚴宗といえば「ひとつがすべてであり、すべてがひとつである」という思想でしたから、新羅は国家統一をするにあたってこの教義をよりどころとしたのです。日本でも8世紀にこの思想に基づいて国家鎮護のために東大寺を建てたのですが、日本に華嚴宗を伝えたのは新羅の僧、審祥だったということですから、義湘の流れを汲む僧だったのでしょうか。その後、華嚴宗は天台宗や真言宗に押されて勢力を失いましたが、鎌倉時代に華嚴宗を再興した明恵上人

は、義湘の伝記である「華嚴宗祖師絵伝」という絵巻をつくらせ、さらに善妙の像もつくり善妙寺という寺を建てて祀ったといひます。

わたしが寺をあとにしたころには、日も高くなり、登山支度をしたたくさんの人びとが続々と登ってきていました。山道に店を広げているおばさんから買ったリンゴをサクサクと食べながら、中国娘と韓国僧と、そして日本の僧たちとの心の交流を思い浮かべました。
(波多野)

スタッフ紹介

イ・ヨロ (李烈鎬)

わたしは韓国の公州(コンジュ)大学4年生で、日本政府の奨学金をもらい、いま1年間の交換留学生として、東京学芸大学で日本語と日本文化を勉強しています。学内の国際寮で、70人の日本人と10か国から来た30人の留学生と一緒に住んでいます。最初は食堂でチケットの買い方がわからなかったり、買い物するときどれを買えばいいかわからなかったり、いろいろ困難がありましたが、学内の国際課で教えてもらったり、地域で国際交流のプログラムがあったり、とくに日本人が優しいので、4ヶ月経ったいまは楽しく暮らしています。(韓国でも日本のように留学生に対するサポート体制があればいいなあ。)



わたしが最初に日本に興味を持つようになったのは、友だちに誘われて、韓国の韓日アジア基金でボランティアをしたときです。そのころは靖国神社問題や教科書問題で日本のイメージはよくありませんでした。でも2日間、日本人と一緒に活動するうちに、日本人のことを少し理解できるようになりました。また、韓国外務省がおこなった日本との国際交流プログラムで、10日間ほど日本の大学を見学したり、ホームステイをしたり、京都などの歴史的な場所を訪ねたりして、日本がもっと好きになり、留学したいと思うようになりました。そして、いまは夢が叶いました。

わたしは未来の子どもたちのために、アジアの平和、とくに日本と韓国の関係がよくなるように協力したいです。平和のためにはコミュニケーションが重要であり、英語ができれば世界中の人とコミュニケーションがとれると思うので、韓国に帰ったら英語の教師になりたいと思います。その後、韓国の駐日大使館で働いて、韓国に対する理解を深めることに協力したいです。また、ほかの国を理解できないのは、飛行機の値段が高くてほかの国に行けないことに問題があると思うので、わたしが航空会社を起業して、安くさまざまな国に行けるようにしたいとも思っています。

人は向かい合っているときよりも、同じ方向を見て同じ方向に進んでいくときに、もっと親しくなります。日韓アジア基金はいままでの活動で、わたしを含めたくさんの人に影響をあたえています。だからそれがもっと広がるように、これからも頑張りましょう！！
(聞き書き：波多野)

05年10月～12月に会費・ご寄付を下さった方(敬称略・別枠以外五十音順)

秋元 久美子	大澤 龍	黒巢 香	瀬野 めぐみ	飛田 恵子	藤井 陽子	吉村 孝治
有森 直子	岡田 美根子	鯉沼 利夫	高柳 直正	中川 敦司	堀内 和子	四方田 千尋
今西 淳子	神戸 博子	小林 真理子	武石 せつ子	中田 邦雄	南 康雄	渡辺 京子
岩見 豊子	菊池 礼乃	芝村 篤樹	田辺 由香子	波多野 淑子	谷池 教子	
潮田 耕一	木下 真知子	下村 紀雄	田野辺 隆男	平島 清行	柳田 乃里	
浦 紀子	木村 順子	白井 亘子	佃 吉一	広瀬 微孝	山越 栄子	
榎山 加代子	熊丸 はるみ	鈴木 晶子	津布久 元子	藤井 信子	吉崎 秀一	
ABKオータムフェスタ募金	DHLジャパン株式会社	COCO湘南台	グローハルフェスタ募金			

フリーマーケットの商品をご提供下さった方(敬称略・1月26日現在)

新庄 由美子 | 荒川 未知

ご入会・ご寄付のお願い

活動会員:年会費 5,000円(学生、未成年者 2,000円)
 賛助会員:年会費1口5,000円(学生、未成年者 1口2,000円)
 法人会員:年会費1口10万円
 ご寄付:2,000円以上おいくらでも

<郵便局振替口座>
 00180-2-25153
 日韓アジア基金

活動会員:活動に積極的に参加いただける方

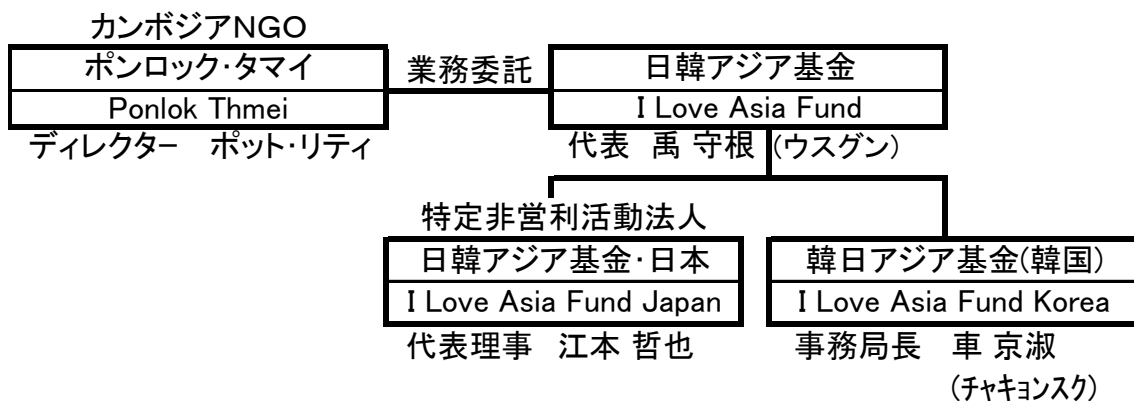
賛助会員:定期的にご支援いただける方

ご支援下さった方には「日韓アジア基金ニュースレター」をお届けいたします。

なお、ご希望の方には Eメールでもお送り致しますので、下記メールアドレスまでご一報下さい。また、下記ホームページでカラーでご覧になることもできます。

日韓アジア基金の組織

ご支援者から、組織が判りづらいとのご指摘を頂きましたので、今後毎号組織図を載せることと致しました。



<お問合せ先>

〒113-0021 東京都文京区本駒込 2-12-13 アジア文化会館(ABK)内

Tel:090-4456-2942(庶務・会計担当 大澤) FAX:03-3946-7599(ABK)

Eメール:iloveasia@ml-b7.infoseek.co.jp HP: http://www.iloveasiafund.com

このメールアドレスは当会のメーリングリストのもので、お名前、メールアドレス以外の個人情報は載せない様お願いします。

発行人 特定非営利活動法人 日韓アジア基金・日本 代表理事 江本 哲也